

第一コンサルタンツのプロフィール

代表取締役社長 右城 猛

1. 会社概要

社名 株式会社第一コンサルタンツ
設立 1963年11月29日
資本金 4,500万円
売上高 23億2百万円(2020年3月)
社員数 145人(2020年4月)

2. 業務内容と特徴

当社は、道路、トンネル、橋梁、河川、公園などの社会インフラの整備に関する調査、測量、設計、技術開発の業務を行っています。

売上高の95%は官公庁(国土交通省、県、市町村)からの受注で、その90%は高知県内からです。

3. 会社経営に対する私の思い

私が入社した1986年に当社の経営が破綻しました。最大の原因は創業者の放漫経営ですが、技術者が育っていないこともありました。破綻後、2003年までの17年間は大手企業の傘下であり、利益の多くが親会社およびグループ会社に渡り悔しい思いをしました。

業績は1998年まで順調に伸びていました。しかし、それ以降は国の公共事業予算が大幅に削減され、2006年には売上高がピーク時の1/2にまで落ちました。営業損益が赤字になるところまで経営は悪化し、優秀な社員は次々と公務員に転職していきました。経営環境が最悪であった2007年の6月に私が4代目社長に就任しました。

公共事業が右肩下がりで見えない状況の中、安い給与に耐え忍んで会社に残ってく

れた社員に対し、「私と一緒に働いて本当によかった」と思ってもらえるようにしようと決意しました。そして、社員に対して「第一コンサルタンツには仕事がある、笑顔がある、未来がある、こんな会社になります」と約束しました。

社員は仲間であり家族です。一緒に汗を流した仲間と喜びを分かち合い、誰かに困ったことがあれば助け合う。利益が出れば公平に分け、全員で一緒に酒を飲んで笑い、一年に一度は全員で旅行に出かける、そんな職場になることを目指しています。

また、社員には一流の技術者を目指すだけでなく、地域の人々や官公庁の職員から尊敬され、部下から慕われる人になってもらいたいと考えています。

4. 高知県の現状と当社の役割

高知県は台風や豪雨による災害が毎年発生しています。また、100~150年周期で南海トラフ巨大地震に見舞われており、自然災害に対する備えが大きな課題となっています。

そうした中で、高知県は全国に先駆けて少子高齢化が進んでいます。毎年人口が7,000人減少しており、2019年には70万人を割りました。自然減が5,000人、2,000人は職を求めて県外転出です。人口減少と高齢化で企業が衰退し、若者がいなくなり、イベントや祭りの開催が困難になっています。地方の社会・経済活動が成り立たなくなりつつあります。

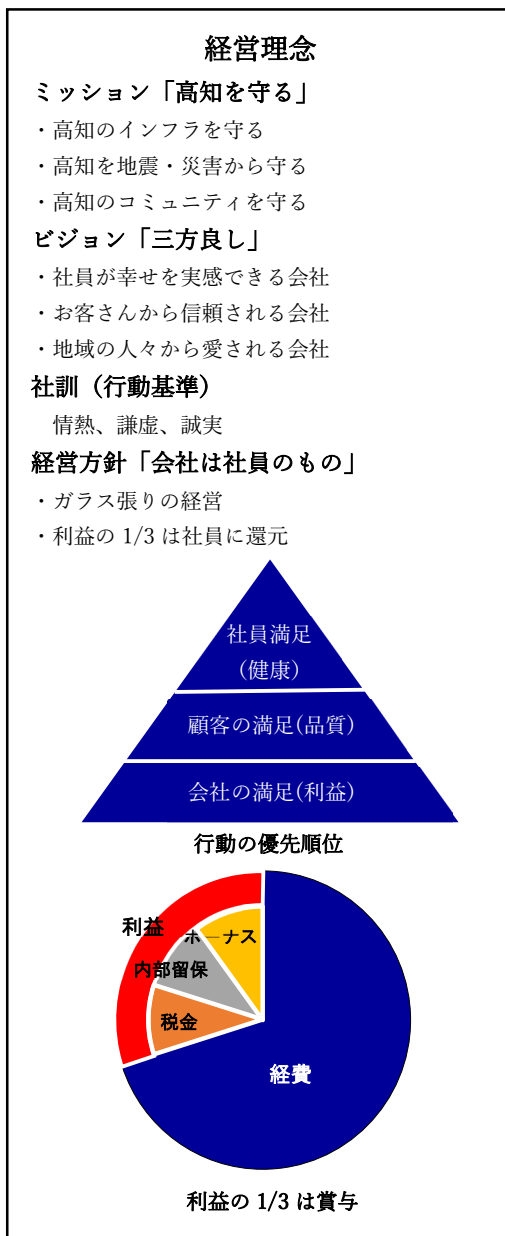
当社の役割は土木技術を活かして地域の社会インフラを守ること、地震・災害から守る

こと、地域のコミュニティを守り元気にする
 ことです。そのためには多くの若者の力が必
 要です。若者が魅力を感じ、働きたいと思え
 る職場づくりが重要だと考えています。

5. 経営理念

当社の経営理念はホームページや会社 PR
 誌で公表しています。

経営理念を社員に浸透させるため社歌に
 し、始業5分前に毎朝放送するほか、入社
 式、経営方針発表会などで、全員で斉唱して
 います。



社歌「ガードレール」

君の志は何ですか？
 それは、故郷(ふるさと)を守る事
 君の志は何ですか？
 それは、家族を守る事
 君の志は何ですか？
 それは、暮らしを守る事
 ボク達は貴方(あなた)のガードレール
 日々の暮らし守ります
 故郷の山や川、
 町の暮らしは今日も元気ですか？
 明るい笑顔に笑い声、
 活気あるエネルギーを感じますか？
 大丈夫！ 心配しないで！
 ボク達がついている！
 明日(あした)はきっと、
 今日よりも、夢と希望に満ちている
 セーフティパーフェクト
 第一コンサルタンツ

6. 働きがい高める取り組み

(1) 社員のスキルアップ支援

社員が働きがいを感じるのには、よい仕事を
 してお客様から感謝の言葉をかけられたとき
 です。よい仕事をするには高い技術力や説明
 力が必要です。当社では、そのスキルを身に
 つけるために下記のことを実施しています。

- ① 技術士、測量士など国家資格取得のため
 に社内で受験指導をしています。受験費
 用は全額会社が負担し、合格者には祝い
 金、資格手当を支給しています。
- ② 毎月1回程度の頻度で外部講師を迎えて
 セミナーを開催し、その後で食事をしな
 がら社員が講師と懇談できる機会をつく
 っています。
- ③ 毎年9月には、論文執筆とプレゼンテー
 ションのスキル向上を目的として、社内

研究発表会を開催し、優秀発表者数名を表彰しています。

- ④ 土木学会や地盤工学会が主催する技術研究発表会、海外・国内視察旅行への参加を奨励し、参加費用はすべて会社が負担しています。
- ⑤ 大学院修士課程、博士課程への進学を奨励し、入学金と授業料の1/2を会社が負担する奨学金制度を設けています。

(2) 利益を賞与として還元

頑張って成果を出せば報いられる仕組みとして、「利益の1/3は税金、1/3は内部留保、1/3は社員への賞与」というルールをつくっています。6月と12月にそれぞれ2.5ヶ月の賞与を支給し、賞与がその年の利益の1/3に不足する分を3月に支給しています。近年は年間7~7.5ヶ月を支給しています。

(3) 社員持株制度

利益の1/3を内部留保することで、年間10~15%純資産が増えています。これは社員の努力の賜ですが、権利は株主にあります。社員の努力に報いるには、社員を株主にする以外にありません。

2003年度に当社の株式を買い戻したとき、その多くを自己株式としました。2010年からは社員であれば誰でも自社株式を購入できるようにし、購入希望者には無利子でお金を貸しています。

創立55周年には、勤務年数が5年以上の社員全員に株式を無償譲渡しました。5年おきの周年記念には株式の無償譲渡を続けることにしています。

7. 地域社会への貢献

(1) 地域イベントへ協賛と参加

地方は人口減少と高齢化で、イベントに必要な資金、人手が集まらなくなっています。仕事でお世話になっている市町が開催する

「中土佐タッチエコトライアスロン」「四万十川ウルトラマラソン」「須崎市ドラゴンカヌー大会」などには、スポンサーとして協賛するだけでなく、運営スタッフ、選手として参加し、競技を盛り上げています。

本社がある介良野地区では、田植え前の2月に田役、10月には神祭(じんさい)がありますが、高齢化のため住民だけではできなくなっています。地元からの要望で、当社の若者約30人が水路の泥かき、神輿担ぎをしています。



(2) 「よさこい祭り」へ参加

高知を代表する夏祭りに「よさこい祭り」があります。2019年度から「第一コンサルタンツチーム」を立ち上げ、社員とその家族を中心とした総勢113名が「高知を元気に!!」をスローガンに、熱い演舞を披露しました。2ヶ月間、鳴子踊り踊りを練習をするうちに恋心が芽生え、4組のカップルが誕生するという嬉しいニュースがありました。



(3) 当社は地域の防災拠点

当社は、2015年にBCP(事業継続計画)の一環で現在地に本社を新築移転しました。公共施設と同等の耐震強度、3日間は稼働する自家発電装置、千人分の飲料水をまかなえる

防災井戸、衛星通信機器を完備し、大地震や災害時の防災拠点として機能するようにしています。

地元自治会とは災害時避難所協定を締結し、本社の1階ロビーと研修室を地域の人々に災害時避難所として開放することになっています。

(4) 教育支援

地元の小・中学校に出前授業、県内5つの小学校の新1年生に三角鉛筆と絵本を贈呈するなど教育支援活動を行っています。

2019年には2社の共同で、ミャンマーに高等学校（鉄筋コンクリート造平屋建、4教室）を寄贈させていただきました。

(5) コロナショック被害者支援

2020年5月には、高知市にマスク2万枚と高知県産業教育振興会へ現金100万円、6月には高知県に現金500万円を贈呈させていただきました。

また、4~7月の期間は飲食店を支援するため、木曜日を「応援ランチデー」とし、毎回社員用に弁当約100食を注文しました。

8. 健康経営と福利厚生

当社の特筆すべき点として、健康経営への取り組みと福利厚生の充実があげられます。

(1) 健康経営

当社では全社員に1年の抱負や願い事を巨大絵馬に書いてもらって、それを正月の仕事始めに神社に奉納しています。2009年から続けていますが、数年前から絵馬に「健康」という文字が目立つようになりました。

社員の高齢化もありますが、お客様の期待に応えようとサービスの仕事を引き受け過ぎて長時間労働になっているためです。お客様の信用や会社の利益よりも社員の健康を最優先させることを経営方針で明確にし、時間外労働の削減に取り組んでいます。

2017年度からは、会社の近くのスポーツジムと法人契約し、社員は無料で利用できるようにしています。

2019年度には、退職上積み保険および三大疾病保険へ加入するとともに、経済産業省の「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」の認定を受けました。

(2) 社員旅行

同じ釜の飯を食べて社員同士の絆をより深めてもらいたい、見聞を広めてもらいたいという思いで毎年、全額会社負担の社員旅行を実施しています。

例年は国内か東南アジアを観光していますが、2018年の創立55周年には、イタリア班、フランス班、ドイツ班に分かれて希望する国を観光してもらいました。



(3) ランチミーティング

毎週木曜日は、社内食堂においてバイキング方式のランチ(無料)を楽しみながら、育児や介護などの悩みの相談、楽しい職場づくり、仕事や勉強の仕方などの情報交換を行える場を提供しています。



以上

2020年9月9日 文責：右城猛